



1924年創刊
 〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原201
丹波新聞社
 TEL (0795) 72-0530(代)
 FAX (0795) 72-1956
 URL http://tanba.jp
 E-mail tanba@tanba.jp
丹波篠山支局
 〒669-2212 兵庫県丹波篠山市大沢2-6-3
 TEL (079) 506-4338
 FAX (079) 506-1612
 毎週日曜日・木曜日発行
 月ごめ購読料1,255円(税込)

後輩の学びを止めない

丹波市出身の 柏原中にICT機器贈る

新型コロナウイルスの影響で臨時休校が続く中、端末と環境がないために「つながりず」、インターネットを使ったオンライン学習がしづらな生徒を支援しようと、今年23歳になる丹波市出身者のグループが18日、柏原中学校にICT(情報通信技術)の端末と周辺機器を寄付した。若者たちは、「自分たちが育ったまちへの恩返し。役立ててもらえれば」と話している。(足立智和)

SNSでつながる同級生 SNSで募金活動を展開

「丹波市オンライン」代表、12人。丹波市内を使って趣旨を訴え、63人から寄付金約17万円を集めた。



恩返し ったまちへ



頭の正文さんと休校中の学校の課題を話し合う中で、オンライン学習を進めにくい事情の一つに、端末と環境整備の問題があることを知った。代表は、行政の手続きは予算化し、機器購入に至るまで時間がかかることを大学で学んで知っており、「教育を止めないた

め、また環境の有無で、都市部の子どもたちと地方の子で教育格差が生まれてはいけない」と、寄付を募ることにした。

「役立つこと形に」メンバーや寄付者には、初任給の一部を寄付に当てた人もいます。丹波市の中学教師、久下浩大

は、また環境の有無で、都市部の子どもたちと地方の子で教育格差が生まれてはいけない」と、寄付を募ることにした。

初任給の一部を寄付に当てた人もいます。丹波市の中学教師、久下浩大

おうちでちよっと贅沢時間
 純米大吟醸
路上有花葵
 丹波市市島町中竹田1171
 TEL.(0795)86-0331(代)
 http://www.tsuzumiya.com/

機能不足を解消 市内全校で使用
 柏原中学校では大槻芳裕校長と面談し、タブレットやウェブカメラを手渡した。

同校にあるウェブカメラは1台で、会議ソフトはZoomで生徒と対面する際には、教師が列をなしてノートパソコン

丹波市クリーンセンターのごみ受け入れ量が、3月、4月ともに昨年より増えており、特に家庭系ごみの持ち込み量が大きく増えた。新型コロナウイルスに伴う外出自粛や休校で、自宅で過ごす時間が増えた影響とみられる。一方、4月の事業系ごみの量は減少し、緊急事態宣言や休業要請などの影響が表れたとみられる(古西 純)

大槻校長は「若い人たちに動いていただいてあげたい。ちょうど接続と謝辞を述べた。代表は「使えは使えなかつたのでさっそうほど、心理的ハードルを下げたい。コロナの第2



家庭系ごみの持ち込み量は、昨年と比べ、3月は22・4%、4月は58・9%も増加した。持ち込み車両台数も、4月は昨年より約770台多かった。

丹波市クリーンセンターのごみ受け入れ量が、3月、4月ともに昨年より増えており、特に家庭系ごみの持ち込み量が大きく増えた。新型コロナウイルスに伴う外出自粛や休校で、自宅で過ごす時間が増えた影響とみられる。一方、4月の事業系ごみの量は減少し、緊急事態宣言や休業要請などの影響が表れたとみられる(古西 純)

中にも関わらず、市内全校で使う方法を考えたい」と話していた。ほかのメンバーは次のみならず。

一方、事業系ごみの搬入(直接搬入と、事業系が大半を占める許可業者搬入を合わせた量)は、昨年と比べ、3月は4・4%の増だったが、4月は10・9%減少した。緊急事態宣言後に、店舗や会社などの営業を自粛したためとみられる。



ゴーグルを着用してごみのチェックにあたる作業員ら=春日町野上野で

家庭系ごみ搬入が大幅増 クリーンセンター 自粛中の片付け影響か

小川牧葉、横山瑠南(以上、青島)、山口真平、谷口丈太(和)、小山拓希、細見幸太郎(氷上)、秋山太輝(春日)